

周波数用の同調回路を用意して混信排除を行います。しかし、多くのAMラジオでは、アンテナそのもので信号を選択するように機能させています。このためにバー・アンテナという芯入りのコイル状アンテナを使って、共振点を受信周波数に連動させています。

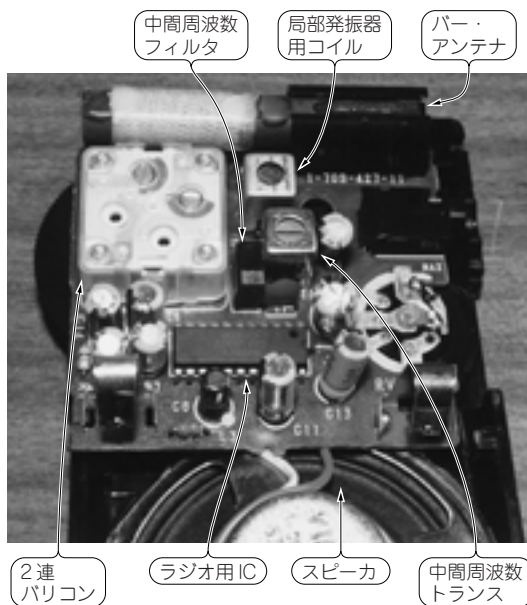
このアンテナを使うことで、受信周波数以外では極端に感度が低下して余計な信号を減らすことができ、局部発振器からの信号が逆流してアンテナから発射されることも防いでくれます。

そのほか、ラジオには、オートマチック・ゲイン・コントロール(AGC)という回路が使用されています。この回路は、放送局の電波が強いとき

や弱いときでもスピーカから出る音を同じ大きさにするものです。AGCによって自動で増幅回路の増幅度(利得)が調整されます。



AMラジオに使われているバー・アンテナ(磁界型アンテナ)



スーパー・ヘテロダイン方式のラジオの内部

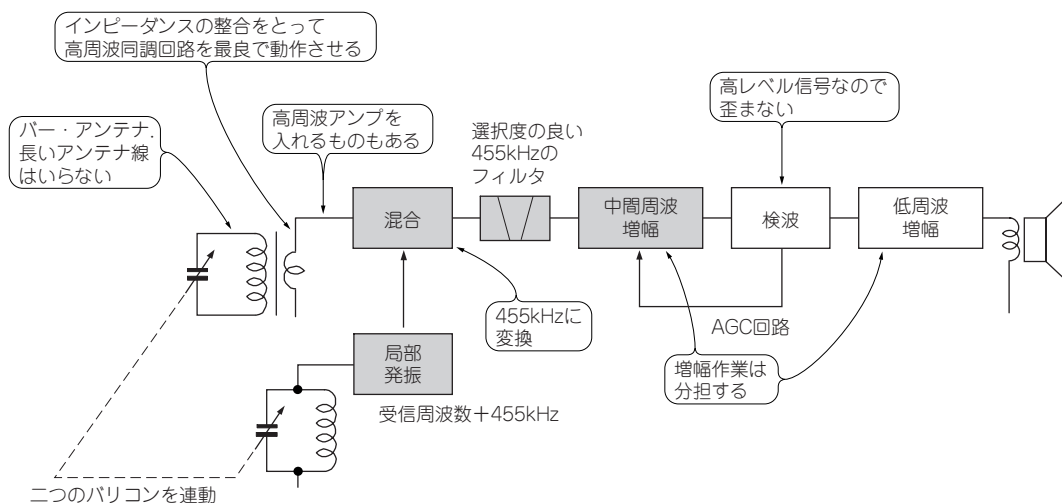


図1-1-2 スーパー・ヘテロダイン方式によるAMラジオの構成